

プログラム番号	06051
---------	-------

平成18年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	国立大学法人琉球大学 理工学研究科		
②学長名	森田 孟進		
③所在地	〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	理学部・学務担当専門職員	
	担当者氏名	平良 雅彦	e-mailアドレス rggakmu@to.jim.u-ryukyu.ac.jp
	電話・FAX番号	Tel.:098-895-8595, FAX:098-895-8587	
⑤ホームページURL	http://www.u-ryukyu.ac.jp		
⑥大学院在学留学生数	124人(うち、国費留学生 81人)		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	亜熱帯海洋科学国際プログラム
②プログラムの形態	博士前期課程+博士後期課程(2+3年間)
③実施研究科・専攻	理工学研究科 後期:海洋環境学専攻
	(所在地) 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
④連携大学・研究科・専攻名	琉球大学 理工学研究科 前期:数理科学専攻, 物質地球科学専攻, 海洋自然科学専攻 教育学研究科
⑤受入れ学生数	博士前期課程10人(うち研究留学生優先配置人数:博士前期7人) 博士後期課程 7人(" " 博士後期4人) (うち日本人学生数: 0人)
⑥担当教員数	合計 56人(うち専任:55人、兼担:1人、非常勤:0人)
⑦研究科長(代表者)名	所属部局・職名 工学部・教授
	研究科長名 宮城 隼夫

【3. プログラムの内容】

1. 本プログラムの目的と特徴

本プログラムは、留学生のための英語による大学院理学系特別プログラムであり、亜熱帯海洋科学を中心とする生物科学、環境科学、地球科学、物質科学、数理科学の専門分野における先端的大学院教育と研究を行うことを目的として設立されました。

琉球列島は、亜熱帯性・海洋性・島嶼性の自然特性を有し、多様な生物種が棲息する特異な生物圏を形成しています。琉球大学大学院理工学研究科理学系では、このような琉球列島の自然条件を活かした特色ある教育・研究を展開しています。特に、21世紀COEプログラム「サンゴ礁島嶼系の生物多様性の総合解析」と関連する分野の世界的研究拠点形成を目指しています。また、地球規模で悪化する環境問題の解決のため、熱帯・亜熱帯地域の海洋科学・島嶼科学の研究に重点的に取り組むと共に、その基礎となる物質科学ならびに数理科学の研究に全力を尽しています。

琉球大学の魅力は、アジア・太平洋地域と共通点が多い沖縄の自然および文化的な環境の中で、留学生が日本の先端的科学を習得できることです。理学系は、英語を用いた組織的な大学院教育ではこれまで17年間の実績があり、150人以上の修士課程修了生を輩出してきました。修了生はそれぞれの母国で活躍しています。本プログラムの修了生は、この伝統を受け継ぎ、国際的に活躍できる人材となること、修了後もさらに共同研究、人材交流を活発に進める指導的研究者・教育者となることが期待されています。

2. 教育課程

琉球列島の自然特性を生かした亜熱帯・熱帯域の海洋科学・島嶼科学を中心とする以下の3領域について、大学院教育を行います。琉球大学大学院理工学研究科の異なる専攻（数理科学・物質地球科学・海洋自然科学・海洋環境学、およびその他の専攻）に所属する教員が、有機的連携を保ちつつ、博士前期課程及び後期課程を通してプログラムを運営します。一人の留学生に対して、幅の広い、きめ細かい研究指導を実現するため、複数の指導教員（主指導教員、副指導教員、協力教員）が、入学時から修了時まで緊密な連携を維持して指導にあたります。

（1）生物科学領域

世界的に特異な湿潤亜熱帯域に属する琉球列島の生物種、サンゴ礁生態系及び島嶼生態系を対象にして、それらの生物多様性、生物生産及び生命機能に関する先端的教育研究を行います。主として海洋自然科学専攻と海洋環境学専攻に所属する教員が協力して研究指導を行います。

（2）環境科学領域

亜熱帯域の海洋・島嶼環境、及び地球科学に関する先端的教育研究を行います。物質地球科学専攻、海洋自然科学専攻、海洋環境学専攻、教育学研究科の教員が中心となり、海洋科学、大気科学、水圏科学、海洋化学、地球科学、物質循環、海洋生産等の課題について教育研究に取り組みます。

（3）物質科学・数理科学領域

天然及び人工の機能性物質の先端的教育研究、物質の基本的性質を明らかにする物理科学の教育研究、自然の数理及び自然理解の手法としての数理科学と情報科学に関する教育研究を行います。主として物質地球科学専攻、海洋自然科学専攻、数理科学専攻、海洋環境学専攻の教員が協力して、海洋天然物、天然鉱物学、海洋資源物質、機能性物質科学、物質基礎科学、理論物理学、計算科学、数理科学、自然数理、自然論理学等の課題について研究指導にあたります。

3. 募集人員

博士前期課程（修業年限2年） 10名（うち、研究留学生優先配置人数7名）

博士後期課程（修業年限3年） 7名（うち、研究留学生優先配置人数4名）

博士前期課程修了者で、引続き博士後期課程に入学を希望する者については、外部からの志願者と同一の基準による審査を経て、入学の可否を決定します。

4. 募集方法

一般公募による募集と、本学の学術交流協定締結校からの推薦とを併用します。応募者には複数教員による面接形式の電子メールのやりとりを行い、応募者の研究能力・英語運用能力を審査するとともに、希望専攻分野と受入れ指導教員のマッチングを確認します。なお、非英語圏からの応募者については、TOEFL(PBT)で550点を合格ラインとします。詳しくは <http://www.u-ryukyu.ac.jp> を御覧下さい。

The graphic features a red banner at the top with the text "亜熱帯海洋科学国際プログラム" (Okinawa International Marine Science Program) and "21世紀国際社会への貢献". Below this is a large triangular diagram with a blue background. The top vertex is a yellow circle containing "国際的に活躍できる能力". The left side is a green triangle labeled "生物科学領域" (Biology Science Field). The right side is a green triangle labeled "環境科学領域" (Environmental Science Field). The bottom vertex is a blue circle containing "高度な専門的技能" (Advanced Specialized Skills). The bottom edge of the triangle is a pink circle containing "幅広い科学的素養" (Broad Scientific Literacy). In the center of the triangle, there is a photo of a tropical beach and a petri dish, with the text "亜熱帯海洋島嶼科学の創生" (Creation of Subtropical Marine Island Science). Below the triangle, the text "物質科学・数理学領域" (Material Science and Mathematics Field) is visible. At the bottom, there is a logo for "OIMAP" with the tagline "大自然の数理と物質創成" (Mathematics and Material Creation of Nature). To the left of the logo is the text "博士前期課程 (定員10名)" (Ph.D. Pre-course (10 seats)) and to the right is "博士後期課程 (定員7名)" (Ph.D. Post-course (7 seats)).